

目に見える形での成果を



南部地域づくり協議会
会長 佐藤 義明

長かったコロナ禍というトンネルをようやく抜けた、というのが実感ではないでしょうか。制限されていた地域活動がやっと解禁となりました。いよいよ意中の計画を実現すべく、活動を開始したところであります。課題は多々ありますが、具体的には次の5つに絞られます。

- ①南部地域選出の市議会議員の皆さんとの懇談会を継続実施し、懸案事項の解決に向けた行動計画の作成
 - ②組織改革を図り、女性理事及び次世代を担う若手の登用
 - ③こどもの居場所づくり実現への課題の洗い出し、そして可能な手立ての試行
 - ④小中学校の統合・合併に伴う諸課題の解決策の検討
 - ⑤地域間及び世代間の交流促進
- これらは皆さんの目に見える形で一歩ずつ成果を挙げてまいりたいと考えております。どれ一つとっても住民の皆さんの理解と協力なしには実現し得ない難しい事業です。何とぞ、皆さまにお力添えいただきますようお願いし、10年目を迎えた南部地域づくり協議会からのあいさつといたします。

会則改正し、新たに役員推薦理事 若返り、女性登用を図る

令和5年度第1回理事会

令和5年度第1回理事会が5月26日、なんぴあ地域文化ホールで行われました。任期満了に伴う役員改選が行われ、会長に佐藤義明氏、副会長に川村良喜、千田典夫の両氏を再選、監事に平野貞則氏を再選、工藤等氏を新任しました。役員改選をスムーズに行うため昨年度、次期役員選任委員会を設置、会長、副会長候補の選任、監事候補の選任を進めてきましたが、3役再任、監事選任については事務局に任じようという結論を得ていました。

また、理事会の若返り、女性の登用を図るため、会則を一部改正役員推薦理事を新たに追加したほか、役割分担では企画委員会とまちづくり検討委員会を本化、企画、まちづくり検討委員会として自主事業を進めていくことも決めました。

理事には理事21人、監事2人、南部市民サービスセンター職員4人、事務局4人の計31人が出席。理事会終了後には4年ぶりに懇親会を催し、新年度の事業などについて語り合いました。5年度の理事、担当委員会などは下の名簿の通りです。



令和5年度 南部地域づくり協議会理事・監事一覧

役職	氏名	地区	担当
会長	佐藤 義明	御野場	総括
副会長	川村 良喜	四ツ小屋	総務
副会長	千田 典夫	牛島	広報
常任理事	佐藤 照男	上北手	まつり
常任理事	戸嶋 元美	大住	広報
常任理事	杉山 徳美	御所野	企画・まちづくり
常任理事	相場 隆仁	仁井田	まつり委員長
理事	鈴木 久美	牛島	広報委員長
理事	高橋 信好	牛島	まつり
理事	佐藤 修	御所野	まつり
理事	佐々木 治聖	御所野	広報
理事	植村 和夫	御野場	企画・まちづくり・まつり
理事	新田 宏光	四ツ小屋	広報・まつり
理事	榎 昌範	四ツ小屋	企画・まちづくり委員長
理事	鎌田 悦雄	上北手	広報
理事	田子 多津子	上北手	企画・まちづくり
理事	鈴木 兼夫	仁井田	広報
理事	畑 沢 優	仁井田	企画・まちづくり
理事	吉成 勉	大住	まつり
理事	橋本 亨	大住	企画・まちづくり
理事	藤井 祥子	学識経験者	企画・まちづくり
理事	三浦 喜夫	市民憲章	企画・まちづくり
理事	鳥井 修	スポーツ協会	広報
理事	上村 清吾	子育て支援	企画・まちづくり
理事	伊藤 榮二	サークル	まつり実行委員長
監事	工藤 等	上北手	
監事	平野 貞則	大住	

別館 竹遊会

活動日 第1・第2・第4火曜日
午後1時～午後4時



私達は、日本古来の伝統楽器である「尺八」を生涯の友として独奏や合奏を楽しんでいるサークルです。秋田県三曲連盟（尺八・箏・三絃）にも加入、会員数は約30人ですが、「なんぴあ別館」に集まるのは8人で、いずれも師範クラスの腕前の人達です。

古典尺八をベースにしながらも、「千鳥の曲」や「六段の調」等の古典を箏、三絃との三曲合奏で演奏します。また、「春の海」等の新曲。更には、歌謡曲、ポピュラーな曲にも幅広く挑戦しております。

尺八は、いろいろなか楽器の中でも、音を安定的に出すのが難しく、敬遠されがちですが、修練しだいで思い通りの音が出せるようになります。指の運動、肺の運動、口も耳も鍛えることができるので、むしろ高齢者には相応しい楽器だとも思います。竹遊尺八でも85歳で参加している方もおります。竹遊尺八で健康維持と豊かな感性を養いながら、同じ趣味を持つ仲間との交流を更に深めていきたいと思っております。



本館 サンシャイン

活動日 第2・第4木曜日
午前9時～正午

活動拠点である「なんぴあ」が建つ御野場、御所野地区のメンバーが中心。50代から60代の17人で構成。みんなバレーボールが好きで集まっています。もともとはサンフレンズ、シャイニーズという別々のサークルでしたが、令和5年度に統合、「サンシャイン」として新たなスタートを切りました。

仕事をしているメンバーもいますが、ここの活動を楽しむため、仕事を休んで参加している人も。経験者でなくても楽しめるのがバレーボールのいいところ。活動日は常に試合形式でプレー。お腹の底から大きな声を出し、大笑いしながらみんなで楽しめるのもいいですね。

サークル紹介



登録サークル62団体91人が参加
「春の清掃活動に汗」

なんぴあ本館、別館で6月18日、春の清掃活動が行われました。なんぴあサークル連合会（伊藤榮二会長）の主催で年に2回行われている恒例行事。本館には27団体47人、別館には35団体44人の登録サークル会員が参加、日ごろ利用している施設（多目的ホール、調理室、和室、洋室など）の雑巾がけ、ほこりの拭き取り、モップがけなどを丁寧にいたしました。

当日は朝から雨が降っていましたが、参加者は晴れ間を見て建物周辺のゴミ拾いも実施し、半年ぶりの清掃活動に汗を流しました。

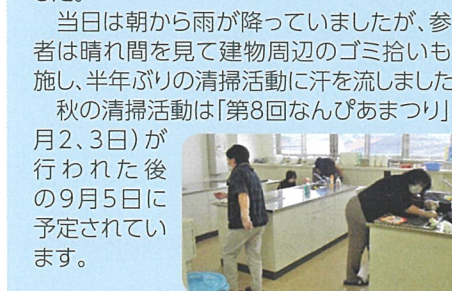
秋の清掃活動は「第8回なんぴあまつり」（9月2、3日）が行われた後の9月5日に予定されています。

登録サークル62団体91人が参加 「春の清掃活動に汗」

なんぴあ本館、別館で6月18日、春の清掃活動が行われました。なんぴあサークル連合会（伊藤榮二会長）の主催で年に2回行われている恒例行事。本館には27団体47人、別館には35団体44人の登録サークル会員が参加、日ごろ利用している施設（多目的ホール、調理室、和室、洋室など）の雑巾がけ、ほこりの拭き取り、モップがけなどを丁寧にいたしました。

当日は朝から雨が降っていましたが、参加者は晴れ間を見て建物周辺のゴミ拾いも実施し、半年ぶりの清掃活動に汗を流しました。

秋の清掃活動は「第8回なんぴあまつり」（9月2、3日）が行われた後の9月5日に予定されています。



編集後記

（広報委員長 鈴木久美）

4月からなんぴあ別館に勤務しています。日々、登録サークルや市民の方たちの笑顔に接し、私自身、たくさん元気な言葉をいただいております。コロナ禍で自粛、我慢続きでしたが、ようやくコロナ以前の状態に戻りつつあります。活気にあふれ、「また来たい」と思っていただけのような別館となるよう努力します。みなさまのご来館、心からお待ちしております。



なんぴあ別館
事務局長補佐 佐々木 亮子

1日目 9月2日(土)

2日目 9月3日(日)

第8回 なんぴあまつり

9月2日、3日 御野場で開催
多彩なイベントを計画

- ★ サークル体験 (吹矢・将棋)
- ★ お茶会
- ★ 日赤秋田看護大ブース
- ★ ダンスパーティー

- ★ ステージ発表
- ★ 子ども縁日
- ★ 屋外公演
- ★ クイズラリー
- ★ サークル体験 (囲碁)

「第8回なんぴあまつり」が9月2日（土）、3日（日）の2日間、南部市民サービスセンター（御野場・愛称なんぴあ）で行われます。御野場での開催は4年ぶりです。

まつりは登録サークルのステージ発表はもちろん、人気の野菜販売、御所野小児童の作品展、お茶会など、幅広い年代の人たちにご参加いただける多彩なイベントを計画しています。また、子ども向けの縁日やサークル体験、クイズラリー、屋外公演、日本赤十字秋田看護大学の学生ボランティアによるブースも予定しています。詳細が決まりましたらホームページなどで紹介します。是非ご参加ください。

9月2日(土)・3日(日) ☆☆☆

- ★ 御所野小 児童作品展 9:00～17:00 (3日は16時で終了)
- ★ サークル作品展示コーナー 9:00～17:00 (3日は16時で終了)
- ★ サークル紹介コーナー 9:00～17:00 (3日は16時で終了)
- ★ 軽食コーナー 11:00～完売まで
- ★ 野菜販売コーナー 9:00～完売まで

※内容が変更になる場合があります。

紙面案内	ページ	内容
2～3ページ	各地区の話題・活動報告（仁井田、牛島、上北手、御野場、大住）	
4ページ	別館駐車場イベント 南部地域づくり協議会理事会、サークル紹介、サークル連合会清掃活動、事務局長補佐あいさつ、編集後記	

仁井田地区

「子ども見まもりたい」活動について

仁井田地区振興会 会長 相場 隆

「おはようございます」——。毎朝、通学路に響く子供たちの元気な声。おそろいのメッシュベストを着用して活動している仁井田小学校「子ども見まもりたい」(川邊信夫会長)と児童たちが交わす「あいさつのキャッチボール」です。

「見まもりたい」は同小学校児童を事故や犯罪から守り、安全・安心を確保することを目的に平成23年12月に発足。スクールガード制度事業を継承し、児童の登下校時に国道13号線と各町内の交差点(横断歩道)12カ所で見守りを続けています。

各町内会から推薦された隊員77人に加え、仁井田地区各種団体等の役員の方々が活動を支援。

隊員たちのスキルアップを図るため、毎年4月に行われる全校児童と見まもり隊員との対面集会や6月の総会、11月の情報交換会などで、警察官や行政の職員を講師に招いた研修も行っています。

隊員の装備品(ベンチコート・メッシュベスト・ジャンパー・帽子)はかつて秋田銀行や北都銀行、(株)国際パトロールから地域貢献活動としていただいた寄付で購入。町内会からの協力金(年3,000円)がこの活動を支えています。

隊員の多くは高齢者ですが、子どもたちからもらう元気な「おはようございます」の声が見まもり活動の励みになっています。これからも隊員各自健康に注意し頑張っていきます。



牛島地区

“平澤健治美術館”に行っただけがありますか

牛島地区振興会 副会長 高橋 信好

牛島小学校創立140周年を記念し、平澤健治さんが世界の名画(複製)を牛島小に寄贈したことがきっかけでできたのが平澤健治美術館です。モネの「睡蓮」、ゴッホの「ひまわり」、レオナルド・ダ・ヴィンチの「モナ・リザ」…。これらの絵は校舎2階と校長室に飾られていて、児童・父兄・教職員達の心を豊かにしてくれています。

平澤さんは牛島小PTA会長や牛島体協会長など様々な方面で活躍した方ですが、高校生の頃、北アルプスの剣岳に登ったり、その後、ヒマラヤ遠征をしたりしました。秋田市と中国・蘭州市の市民による合同登山隊が結成された1989年には平澤さんが総隊長を務め、中国のアルチン山に登っています。

牛島地区では「振興会」と「まちを健康で明るくする皆の会」の共催で、17回にわたり楽しい研修会を行ってきました。前回の「しよつる製造」見学ウォーキングも参加者に好評でした。今回は8月9日(水)、13:30から牛島小で、齋藤彰校長の解説による『“平澤健治美術館”名画鑑賞会』を行います。ぜひ、いらしてください。平澤さんもゲストとして顔を見せてくれます。問い合わせは「まちを健康で明るくする皆の会」事務局長・高橋信好(携帯090-2843-5173)へ。来年、創立150周年を迎える牛島小学校に、皆さんの活力を与えてください。



平澤健治さん



齋藤 彰 校長



御野場地区

御野場団地バス通り、歩道整備事業進行中

御野場連合町内会 会長 大縄 聖

御野場団地内を走るバス通りの街路樹。団地内のシンボリック的存在ではありますが、近年、巨木化によって歩道の根上がり、枝折れなどが発生、市民生活に大きな支障をきたしています。また、視認不良などによって通行の妨げになっているところもあり、問題視されてきました。

御野場連合町内会では平成29年から市と協議を進めてまいりましたが、街路樹の伐採及びバリアフリー化による歩道整備がやっと事業化され、令和3年度から事業がスタートしました。当初、街路樹は部分的伐採の予定でしたが、全て伐採してほしいとの要望も多く、伐採が否かについては、沿線住民の方の要望をお聞きしながら対応しているところです。

工事中は大変ご迷惑をおかけいたしますが、地域の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



大住地区

町内会長座談会について

大住地区社会福祉協議会 事務局長 柴崎 衛

新型コロナウイルスの感染拡大により、この3年間は「敬老会」「ふれあい集会」「地域サロン」が軒並み中止となりました。町内会長座談会で協議し、取りまとめたことが実現できなかったのは残念でなりません。

座談会は大住社会福祉協議会にとって重要な位置づけの会議で、毎年7月に開催。社協役員及び町内会長の意見・要望を、敬老会をはじめとするさまざまな事業に反映させ、ブラッシュアップさせていくことを目的としています。

コロナの感染法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられたことに伴い、今年度はコロナ禍前の事業を展開するための座談会となります。しかし、「第9波」の拡大が懸念されるとの報道もあり、高齢者が多く集まって会食するイベントについてはコロナの感染状況に振り回されるかもしれません。

5年度は「コロナ禍における地区社協の事業形態について」をテーマに、新しい事業形態に変更し、まず事業を開催すること(ふれあいの機会を逸さないこと)を優先して検討していきます。



上北手地区

地域をつなぐ「草刈りボランティア」

秋田市立上北手小学校 PTA会長 佐々木 亮平

南ヶ丘ニュータウンから上北手小学校に通じる通称「南ヶ丘東側通学路(緊急時通行道路)」。同ニュータウンは日赤病院交差点から続く生活道路1本だけの袋小路地区になっているため、隣接するあきた総合支援エリア「かがやきの丘」を含め、同地区内町内会にとっても、有事の際は非常に重要な役割を担う道路となっています。

普段は主に、上北手小に通う児童が利用しており、夏季に生い茂る雑草の刈り取りは防犯・防災面からも不可欠です。そのため、2017年度から上北手小学校とPTA、地元町内会が協力。さらに、上北手地区振興会や市民憲章推進協議会をはじめ、地域の関係機関の方々のご理解とご協力をいただき、草刈りボランティアを実施してきました。

7年目の今年は6月11日に開催、初めてかがやきの丘の教職員の皆様にも多数ご参加いただきました。少しずつ同地域でのつながり、連携の輪が広がってきています。今後はかがやきの丘主催の草刈りボランティアへも参加するなどし、日頃から立場を越えた相互交流を深め、有事の際の減災、何気ない日々のつながりにも貢献できればと思います。地域の皆様のご参加をお待ちしております。



「出口」「入口」「→」「止まれ」

ペイントで事故防止へ 別館駐車場、逆走にも警鐘

なんぴあ別館(牛島)駐車場に6月20日、「出口」「止まれ」「入口」の文字とともに、車の進行方向を示す「→」がオレンジ色でペイントされました。▷駐車場内が一方通行となっていることを知らず、逆走する車がある▷出口から進入する車、入口から車道に入る車がある—など、事故につながりかねないケースがあることから、南部地域づくり協議会が南部市民サービスセンターに対応を要望、実現しました。別館をご利用の際は、表示に従って安全に走行するよう心がけてください。

